

# おらほの 第3次「森地区地域づくり計画」

～森邑で楽しく元気に暮らせるために！～



<キャッチフレーズ>

『自分たちの集落地域は自分たちで守る』

☆公民館を拠点とした地域づくり☆

森地区地域づくり計画策定委員会

森地区コミュニティ推進協議会

おらほの  
第3次森地区地域づくり計画書

1 森地区地域づくり計画策定の背景

平成21年度に第1次計画を策定し、平成26年度から第2次計画として「森邑で楽しく元気に暮らせるために」を目標に地域づくりを推進してきました。

第2次計画から5年が経過したことから、第3次計画を作成するため、森地区コミュニティ推進協議会を中心にした地域づくり計画策定委員会を組織し、地区内へのアンケート調査結果などを踏まえながら協議し、新たに「第3次森地区地域づくり計画」を策定し、引き続き豊かな地域づくりを推進していきます。

2 森地区地域づくり計画の期間

この計画は、令和2年度から令和6年度の5年間とし、必要に応じて見直しを行うことにします。

3 組織の名称及び区域

- (1) 名称：森地区コミュニティ推進協議会
- (2) 区域：森地区全域

4 森地区の人口の推移

(単位：人、世帯数)

区 分	人 口	世 帯	高齢化率 (%) (65歳以上)
平成17年4月(合併時)	1,725	421	—
平成27年4月	1,519	438	28.7
平成30年4月	1,505	459	32.7
平成31年4月	1,492	454	33.6

平成17年4月の合併当初と比較すると世帯数で33世帯増えているものの、人口は233人減少しており、人口減少と65歳以上の高齢化率は年々上昇し、高齢化社会が急速に進んでいる状況になっています。

5 地域の課題

平成31年4月現在、小・中・高校生の人数が合わせて133人であり、地区内の60歳以上で一人～二人暮らしの世帯は、合わせて54世

帯（アンケート調査から）です。

このような状況から、高齢者に優しい生活環境づくりが必要不可欠となっています。

また、森地区コミュニティは、核家族化、連帯意識の希薄化などが懸念される一方で、住民の行政や地区公民館に対する要望が多様化する傾向にあります。

このことから、自発的な意思や具体的な行動が非常に大切になり、「自分たちの地域や集落は自分たちで守る！」という地域づくりと、継続可能なコミュニティ事業が求められています。

さらには、近年、ゲリラ豪雨や台風の襲来等自然災害が多発傾向にあり、地域住民の安全確保の観点から避難場所としての公民館の役割や避難方法等のルールづくりが喫緊の課題となっています。

## 6 地域づくりの目標

第1次並びに第2次地域づくり計画を基本として、活動拠点を「森公民館」と位置づけ地域特性を活かした地域づくりを図り、子どもから高齢者まで地域住民が生きがいを持って、楽しく元気で安心して生活できるよう、地域住民の参加と参画を図りながら地域の皆さんが集いやすい、利用しやすい公民館を目指します。

また、高齢者が多くなることから、交通弱者の移動手段の確保のため、新規交通システム「デマンド型乗合タクシー」の導入を図り、利用しやすく継続的に運行できるよう利用促進を推進していきます。

また、災害発生時の避難所開設については、市役所と協議を重ねながら体制を整えていきます。

### 活動の拠点「森公民館」



## 7 地域づくり計画 ～行動計画～

### (1) ふれあい事業

#### ～ 森邑で楽しく元気で暮らせるために ～

事業名	内容	実施の主体
市民運動会	・スポーツによる交流事業	コミュニティ推進協議会
球技大会	〃	コミュニティ推進協議会
ユニカール大会	〃	子ども会育成会
親子バレーボール大会	〃	子ども会育成会
グラウンドゴルフ大会	〃	コミュニティ推進協議会
元祖親子なわとび大会	〃	子ども会育成会
元旦あるけあるけ大会	・イベントによる交流事業	子ども会育成会
高齢者の交流事業	・もり森クラブの充実 ・地区全体の敬老会等の開催 ・活動・交流の拠点づくり	コミュニティ推進協議会
他地域との交流事業	・おいとこおどり教室	コミュニティ推進協議会
公民館祭り	・盆踊り大会	コミュニティ推進協議会
元気いっぱい森っ子	・子供たちが下校後安心して遊べる公園の整備 ・子供映画会 ・子供クッキング	コミュニティ推進協議会 子ども会育成会
何でもカフェ	・セルフドリンクバー設置 ・宿題カフェ	コミュニティ推進協議会

### (2) うるおい事業

#### ～ 「安心・安全をキーワードにした地域づくりのために」 ～

事業名	内容	実施の主体
花いっぱい運動	・地域内への花苗の植栽	コミュニティ推進協議会
防災・防犯・交通安全に関わる事業	・各種団体連携による訓練 ・講話 ・ハザードマップによる情報の共有化を図る	防犯協会 交通安全母の会

### (3) 次世代への継承事業

～ 地域の絆・歴史・文化などの地域資源を次世代へつなげるために ～

事業名	内容	実施の主体
奥州森邑十三講秋祭り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合文化展</li> <li>・区民芸能祭</li> <li>・奉納舞踊</li> <li>・おいとこ行列</li> </ul>	十三講秋祭り奉賛会
森邑どんと祭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事の継承</li> </ul>	コミュニティ推進協議会
地域伝統料理講習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の伝統料理を次世代へ</li> </ul>	コミュニティ推進協議会
何でも子供カフェ事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お年寄り何でも伝承会</li> <li>・森邑の歴史を学ぶ など</li> </ul>	コミュニティ推進協議会
森風輝龍太鼓継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太鼓体験教室</li> <li>・PTA と連携したイベント</li> <li>・イベントによる全国発信 など</li> </ul>	森風輝龍太鼓

### (4) 登米市連携公共交通事業

～ 地域住民の交通手段確保のために ～

事業名	内容	実施の主体
デマンド型乗合タクシー運行事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続運行に向けて利用促進</li> </ul>	コミュニティ推進協議会

## 8 アンケートの実施

森地区地域づくり策定のためのアンケート調査は、平成31年3月上旬に森地区全世帯を対象に実施しました。

結果として236世帯より回収（回収率52%）し、アンケート内容を集計し一覧表を作成しました。

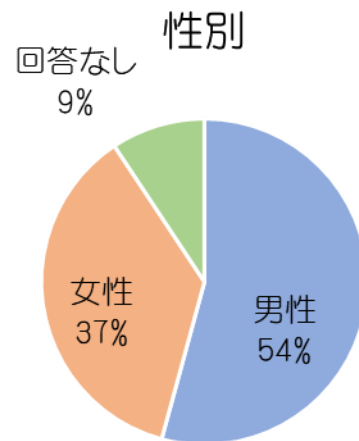
地域づくりアンケート集計結果

- 調査対象: 森地区全世帯 454世帯(平成31年4月1日現在)
- 回収数: 236世帯
- 回収率: 52%

問1 あなたの年齢と性別、家族構成について教えてください。

年齢別

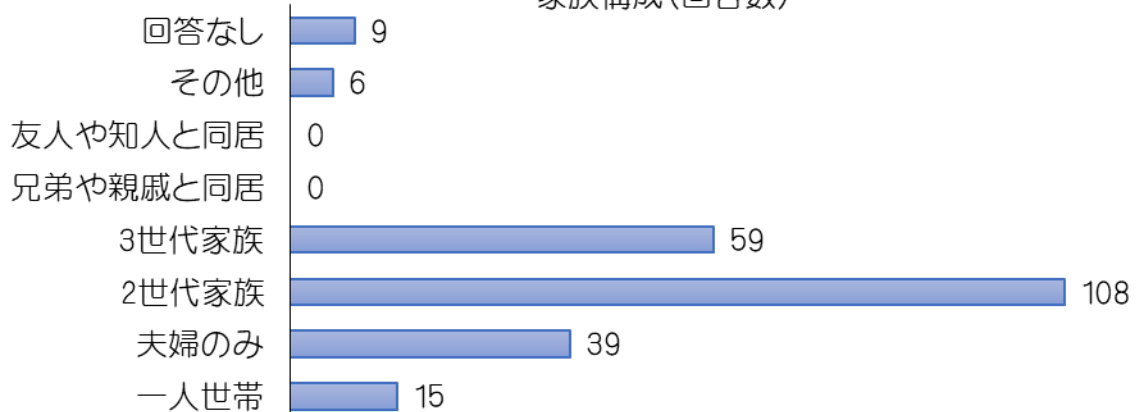
年代	回答数	割合
80歳以上	15	6.4%
70代	52	22.0%
60代	102	43.2%
50代	39	16.5%
40代	13	5.5%
30代	8	3.4%
20代	1	0.4%
回答なし	6	2.5%



世帯人数

世帯人数	回答数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	年齢不明
1人	15	0	0	1	0	3	7	3	1
2人	47	0	0	0	5	22	14	5	1
3人	43	0	0	2	10	18	11	2	0
4人	34	1	3	1	3	21	5	0	0
5人	32	0	1	4	8	14	4	1	0
6人	25	0	2	3	6	5	6	3	0
7人	8	0	0	1	4	2	1	0	0
8人	6	0	0	0	0	6	0	0	0
9人	3	0	1	0	0	2	0	0	0
回答なし	23	0	1	1	3	9	4	1	4

家族構成(回答数)



問2 近所との付き合いについて悩みなどがありますか。

1.地域・集落での仕事・行事が多くて、忙しすぎる	27.8%
2.隣近所とのつきあいが、わずらわしいと思うことがある	19.4%
3.集落内に、話し相手や仲間がほしい	4.2%
4.その他	6.5%
5.悩みや要望はない	50.9%

問3 日常生活について、不安に感じていること・困っていることはありますか。

1.食事づくり、洗濯、ゴミ出しなどの日常生活のこと	15.1%
2.庭作業（草取り）、電気器具設置など軽作業のこと	19.0%
3.玄関先の雪のかたづけなど冬季の除雪のこと	12.2%
4.農地、山林の維持管理のこと	25.9%
5.日常的な相談をする相手がないこと	6.8%
6.看病や世話をしてくれる人がいないこと	9.8%
7.健康面への不安があること	33.2%
8.緊急時の相談先になってくれる人がいないこと	3.9%
9.災害への備えや避難に関すること	22.9%
10.自家用車の運転に不安があること	2.9%
11.買い物・通院などの移動手段（交通手段）に関すること	7.8%
12.生活道路などの環境整備に関すること	14.1%
13.コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便なこと	12.2%
14.身近に預貯金を引き出せる金融機関がないこと	7.3%
15.福祉サービス（ディサービス・介護施設）が利用しづらい	3.9%
16.医師や科が少ないなど、医療体制に不便を感じる	46.8%
17.少子化による遊び相手の確保など、子育ての環境に関すること	15.1%
18.仲間と気軽に集まる場所がないこと	7.8%
19.学校が遠く、通学が不便であること	8.3%
20.進学・進路に関すること	1.5%
21.結婚に関すること（家族も含め）	17.1%
22.仕事・雇用に関すること	12.2%
23.その他	2.9%

問4 あなたは地域活動に関心がありますか。

<選択肢1, 2, 3, 4の回答合計252>

選 択 肢	回答数	割合
1.関心があり積極的に参加している。	74	29.4%
2.関心があるが積極的に参加していない。	101	40.1%
3.関心はないが付き合いで参加している。	59	23.4%
4.関心はないし、関わりたいとも思わない。	18	7.1%

<各選択肢の回答数に対する理由の割合>

1. 関心があり積極的に参加している。(回答数74)

理由	回答数	割合
1.やりがいがあって楽しい	17	23.0%
2.何かの役に立てる	45	60.8%
3.知り合いや仲間が増える	38	51.4%
4.時間的に余裕がある	7	9.5%
5.その他	2	2.7%

2. 関心があるが積極的に参加していない。(回答数101)

理由	回答数	割合
1.仕事・学業などで時間に余裕がない	49	48.5%
2.お金がかかりそう	3	3.0%
3.人間関係が面倒そうである	25	24.8%
4.知り合いがいない	5	5.0%
5.体力がない	37	36.6%
6.自分が役に立つか不安	14	13.9%
7.その他	10	9.9%

3. 関心はないが付き合いで参加している。(回答数59)

理由	回答数	割合
1.時間があるからなんとなく	3	5.1%
2.周りの人の目が気になる	1	1.7%
3.活動には関心はないが、地域の人との付き合いは大切にしたい	47	79.7%
4.人に頼まれた、すすめられた	10	16.9%
5.その他	6	10.2%

4. 関心はないし、関わりたいとも思わない。(回答数18)

理由	回答数	割合
1.興味がない	8	44.4%
2.時間的に余裕がない	5	27.8%
3.人間関係が不安	2	11.1%
4.自由な意見が言えなさそう	3	16.7%
5.体力がない	4	22.2%
6.地域活動に意義を感じない	2	11.1%
7.その他	2	11.1%



問5 地域・集落で実施している活動・事業に対するあなたの満足度と重要度

活動項目	満 足	不 満	どちらとも	重 要 やや重要	重要でない	どちらとも いえない
	やや満足	やや不満	いえない			
1.森地区市民運動会について	<b>55.3%</b>	8.3%	36.4%	<b>62.8%</b>	14.4%	22.9%
2.球技大会(バレー、ソフト、グラウンドゴルフ)について	<b>37.9%</b>	7.7%	54.4%	<b>42.0%</b>	16.6%	41.4%
3.ユニカール大会について	<b>34.2%</b>	8.7%	57.1%	<b>30.5%</b>	24.1%	45.4%
4.親子バレーボール大会について	<b>32.3%</b>	9.5%	58.2%	<b>38.6%</b>	18.8%	42.6%
5.元祖親子なわとび大会について	<b>37.0%</b>	8.5%	54.5%	<b>39.7%</b>	20.1%	40.2%
6.元旦あるけあるけ大会について	<b>37.3%</b>	9.8%	52.8%	<b>38.5%</b>	19.8%	41.8%
7.盆踊り大会について	<b>40.7%</b>	7.9%	51.3%	<b>42.5%</b>	17.1%	40.3%
8.高齢者交流事業(もり森クラブ・長寿大学)について	<b>33.3%</b>	5.9%	60.8%	<b>46.6%</b>	11.8%	41.6%
9.子どもエコアップ教室(石けん作り、料理など)について	<b>32.0%</b>	3.3%	64.6%	<b>38.9%</b>	9.1%	52.0%
10.子ども映画会について(夏休みに実施)	<b>45.1%</b>	2.7%	52.2%	<b>51.4%</b>	5.1%	43.4%
11.子どもが安心して遊べる公園、グラウンドの整備について	<b>40.1%</b>	23.1%	36.8%	<b>70.9%</b>	4.7%	24.4%
12.何でもカフェについて(打合せ室を無料開放)	<b>32.4%</b>	6.6%	61.0%	<b>39.9%</b>	8.7%	51.4%
13.地域内への花苗の植栽など美化・環境保全について	<b>56.3%</b>	3.7%	40.0%	<b>64.3%</b>	5.5%	30.2%
14.各種団体連携による防災・避難訓練について	<b>52.7%</b>	8.5%	38.8%	<b>64.3%</b>	2.8%	17.3%
15.防犯・交通安全活動について	<b>47.0%</b>	11.9%	41.1%	<b>79.9%</b>	5.5%	19.9%
16.十三講秋祭り区民芸能祭について	<b>42.5%</b>	17.1%	40.4%	<b>45.9%</b>	23.5%	30.6%
17.十三講秋祭り伊達なおいとこ踊り宮城大会について	<b>31.7%</b>	18.0%	50.2%	<b>31.0%</b>	28.3%	40.8%
18.おいとこ教室など地域伝統芸能の継承について	<b>26.6%</b>	9.8%	63.6%	<b>48.0%</b>	12.8%	39.1%
19.森邑どんと祭について	<b>46.6%</b>	10.4%	43.0%	<b>44.4%</b>	19.4%	36.1%
20.史跡など、地域の歴史について	<b>25.0%</b>	8.7%	66.3%	<b>41.7%</b>	8.0%	50.3%
21.サークル、教室など生涯学習の活動について	<b>24.3%</b>	9.4%	66.3%	<b>37.8%</b>	9.9%	52.3%
22.健康体操、〇〇教室など健康づくり活動について	<b>34.2%</b>	5.4%	60.3%	<b>52.3%</b>	6.3%	41.4%
23.広報誌や回覧板など、地区内での情報提供について	<b>60.4%</b>	8.0%	31.6%	<b>72.9%</b>	4.5%	22.6%
24.インターネットを活用した住民等への広報について	<b>22.4%</b>	13.1%	64.5%	<b>31.6%</b>	14.6%	53.8%

**\*\* デマンド型乗合タクシー運行事業について \*\***

問1 日頃の主な交通手段は何ですか。

自動車	バイク	バス	タクシー	自転車	徒歩	その他
194	5	4	8	6	2	3

問2 問1で自動車以外を選んだ方におたずねいたします。

デマンド型乗合タクシーが導入された場合、利用したいと思いますか。

<自動車がない人の回答数>

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	年齢不明	合計
はい	1	0	0	1	2	4	6	0	14
いいえ	0	0	0	0	0	3	0	1	4

<自動車がある人の回答数>

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	年齢不明	合計
はい	0	2	1	1	10	4	1	0	19
いいえ	0	0	2	1	12	2	1	0	18

## 地域づくりアンケートまとめ

アンケート回収率は52%、年齢層は60代が最も多く43.2%、70代が22%であった。世帯構成では2世代、3世代家族が7割以上を占めている。

一人世帯は6.4%15世帯、夫婦のみは16.5%39世帯であった。

### ○近所との付き合い・悩み等について

悩みや要望はない人が半数を超え、地域、集落での行事が多く忙しすぎるが27.8%と続いている。集落内に話し相手や仲間がほしいも4.2%であった。

### ○日常生活での不安や困っていることについて

医師不足、医療体制に不安をかかえている方が半数近くへのぼり、健康面への不安、農地山林の維持管理、災害への備えや避難に関することと続いている。また、結婚に関することについても不安に思っている方が多い。

### ○地域活動について

地域活動に関心があるは、69.5%と高かったものの積極的に参加していない割合は40%に達している。

参加している人の理由は、何かの役に立てる・知り合いや仲間が増えるが最も多く、積極的に参加していない理由は、時間に余裕がない・体力がないが多かった。

また、関心はないが参加している人は、地域の人との付き合いを大切にしたい人が79.7%に上った。

### ○活動・事業に対する満足度

全項目において、満足度・重要度は、どちらともいえないが最も多かった。

満足とやや満足の合計で多かったのは市民運動会・地域内の環境美化、保全・地区内での情報提供・子供映画会などであった。

また、やや不満、不満で多かったのは、こどもが安心して遊べる公園・グラウンドの整備、十三講秋祭り、おいとこ踊り宮城大会の順であった。

重要度では、各種団体連携による防災・避難訓練が最も高く防犯・交通安全・こどもが安心して遊べる公園・グラウンドの整備・市民運動会と続いている。

また、おいとこ教室など地域伝承芸能の継承については重要としながら、おいとこ踊り大会、区民芸能際には重要ではないとの意見が多く寄せられている。

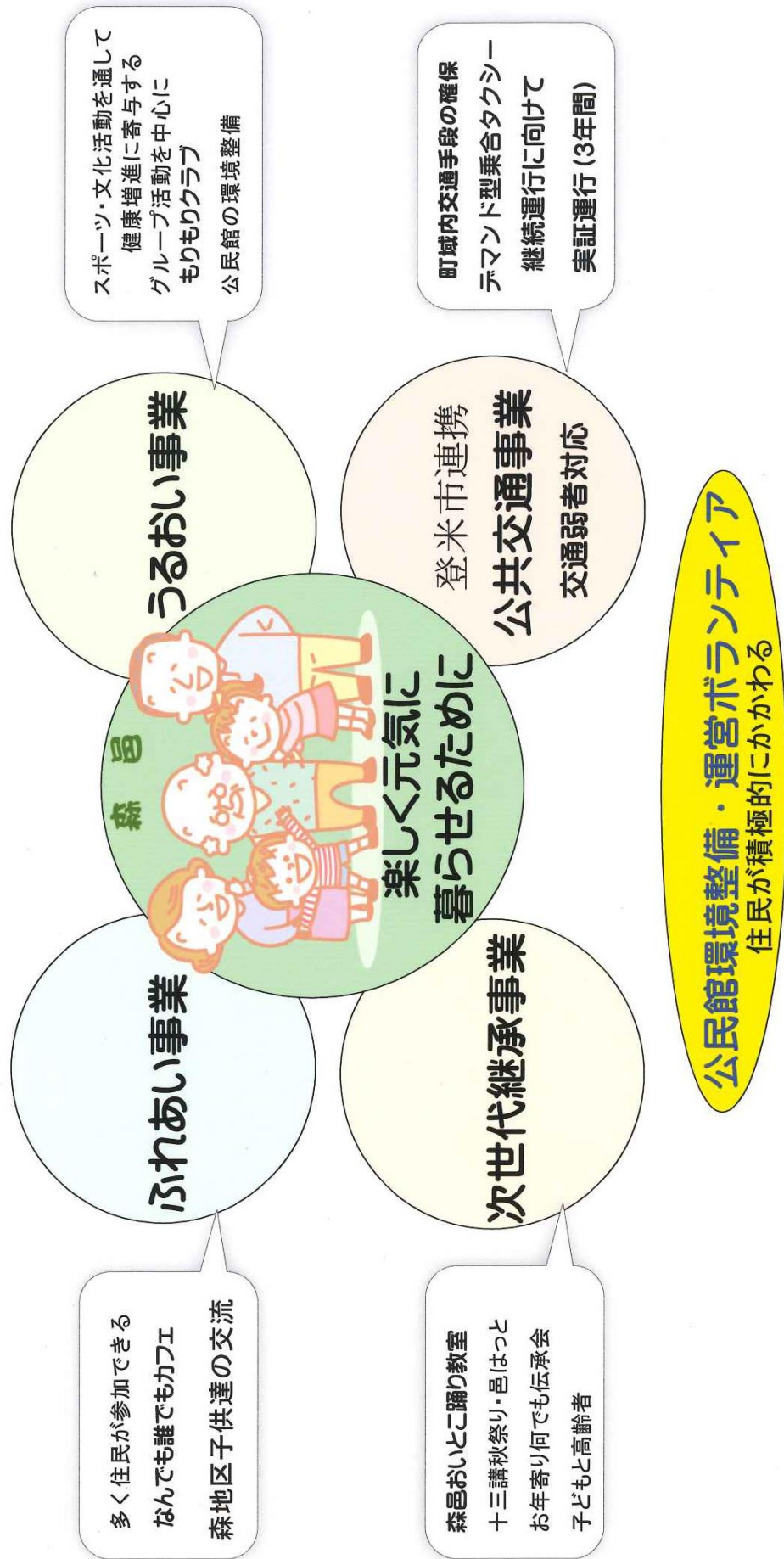
健康づくり活動については肯定的であり、生活に密着する活動等については、必要と考えているものの自身が参加して活動することには、消極的であることが伺える。

### ○デマンド型乗合タクシーについて

日頃の交通手段は、自動車が圧倒的に多いが、自動車以外の方はタクシーを利用したいと思う方は半数に上った。

また、自動車を利用の方でもタクシーを利用したいと考えている方も散見された。

# 第3次森地区地域づくり計画将来ビジョン



**森地区コミュニティ推進協議会**  
**〈森地区地域づくり計画策定委員会〉**

令和2年3月策定

**【事務局】**

登米市森公民館内

〒987-0512

宮城県登米市迫町森字西表195

TEL：0220-22-8387

FAX：0220-22-8365

E-mail：morikou@iaa.itkeeper.ne.jp